

暮らす——ずっと住み慣れた家で



# 自分らしく暮らしたい 暮らしてほしい。

自分や大切な人が、介護が必要になったらどうしますか。もし介護が必要になっても、あなたが望むなら、自宅で暮らし続けることが可能です。  
今回は、訪問介護のサービスとともに、介護の仕事の魅力を伝えます。

問 地域包括支援センター ☎ 26-6828、高齢福祉課 ☎ 26-6826



支える——笑顔に会える仕事



◀ヘルパーの宇田奈菜絵さん(みんなのテラス)が、週2回佐々木さん宅を訪問



92歳の佐々木許枝さん(右・山岡町) ▶ 訪問介護を利用し、自宅で暮らしている

住み慣れた家での暮らし

年齢を重ねるにつれ、これまでと同じ日常生活を送ることが難しくなると、一人暮らしの場合は特に、不安が募ることもあるでしょう。長く暮らした愛着のある家であればあるほど、自宅から離れたくない気持ちも強くなるものです。

訪問介護は、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の自宅を訪問し、入浴などの介護と、調理などの生活援助をするサービスです。

訪問介護だけでなく、自宅で暮らしながら通所介護(デイサービス)や短期入所生活介護(ショートステイ)なども利用できます。

困ったら相談を

どのサービスを利用するかなどは、本人や家族の状況に応じてケアマネジャーが提案します。まずは、地域包括支援センターに相談ください。

- 地域包括支援センター 西庁舎1階 ☎ 26-6828
- 恵南地域包括支援センター 山岡振興事務所内 ☎ 26-6865

支える仕事のやりがい

利用者の自宅を訪問し、サービスを提供するホームヘルパー。その仕事は多岐に渡り、責任も重大です。

しかし、日常生活を支えることで感謝されることも多く、大きなやりがいを感じる仕事でもあります。一人暮らしの高齢者からは訪問を心待ちにされ、利用者の家族からは頼りにされます。ホームヘルパーは生活の支援を行う存在であるとともに、利用者やその家族の心の支えとなる存在でもあります。

介護には、ホームヘルパー以外にも、医師や歯科医師、ケアマネジャー、看護師、理学療法士など、多くの人が関わります。それぞれの専門職がチームを組んで、利用者を支えているのです。



市ウェブサイト  
医療・介護連携センターのページ

働く人の声を紹介

次ページからは、ホームヘルパーなど介護の仕事のやりがいや魅力を、実際に働いている人の声から紹介します。

訪問でのサービス

■ 訪問介護  
ホームヘルパーなどが訪問し、入浴や排せつ介助、調理や掃除など、身体介護や生活支援を行います。

■ 訪問看護  
看護師が訪問し、点滴などの医療処置の他、血圧測定などの健康チェックを行います。

■ 訪問リハビリ  
理学療法士などの専門職が訪問し、日常生活に必要なリハビリを行います。

■ 訪問入浴  
自宅の浴槽で入浴が難しいときに看護師と介護士が訪問し、持参した浴槽で入浴介護を行います。

※これらのサービスに、デイサービスやショートステイを組み合わせ受けることもできます



市ウェブサイト  
高齢者サービスガイドのページ

ヘルパーの仕事(一部)

ヘルパーの主な仕事を紹介します(ただし、同居家族の状況によってできない場合もあります)。



■ 身体介護

- トイレ介助、おむつ交換
- 食事介助
- 入浴介助、洗髪
- 体位変換
- 移動介助
- 爪切り、髭剃り
- 口腔ケア
- 散髪

※医療行為は、できることとできないことがあります

■ 生活援助

- 調理
- 本人以外のための調理
- 居室、トイレ、風呂掃除
- ペランダ掃除
- ゴミ出し
- 草むしり、花壇の水やり
- 洗濯
- 本人以外の洗濯
- 食料、日用品の買い物
- 嗜好品の買い物
- ペットの世話

岐阜県立恵那南高等学校

総合学科ライフサポート系列では、保育施設や介護施設と連携した体験型授業などで、福祉や健康に必要な知識と技術を学んでいる。



祖父が介護を受けるのを見ていて、私も誰かの役に立ちたいと思いました。介護の分野は人手が足りないと思うので、卒業したら恵那で介護の仕事をして、高齢者が笑顔になれるサポートをしたいです。  
 (2年生) 足立佳穂さん (左)

祖母が祖父の介護をしていて、周りには他にも同じような人がいるのではないかと思います。将来は介護福祉士になって、信頼され、この人なら安心だと思ってもらえるような介護士になりたいです。  
 (3年生) 大嶋乃愛さん (右)

藤の里「結い」小規模多機能ホーム

武並町藤地域の高齢者福祉拠点として、通い・訪問・泊まりのサービスを組み合わせ、在宅での生活支援を行っている。



二人ともインドネシア出身で、通いのサービスで働いています。介護の仕事は、会話を通じて日本語の勉強にもなるし、自分の性格に合っていると感じます。将来は資格を取り、できればずっと働き続けたいです。  
 ロビトー・タンジュアンさん (左)

母が亡くなった時は技術も知識もなく、簡単な世話ししかできませんでした。母にできなかったことができればと思い、好きな日本で介護を学ぶことにしました。今は人の役に立っていると感じられてうれしいです。  
 イッフサン・グナワンさん (右)

みんなのテラス訪問介護ステーション

令和3年に明智町で事業を開始。相談支援と、訪問での介護や看護を行っている。従業員に子育て中の女性が多く、子どもを連れて仕事に來られる環境を整えている。

介護という仕事をどう思いますか？

頭を悩ませながらも、常に利用者さんを一番に考えながら行う仕事だなと。経験年数が浅いですが、とてもやりがいを感じます。  
 加藤慧子さん

ホームヘルパーの魅力は？

1対1で対応できるので、目の前の人に向き合い、思いに寄り添うことができます。それがうれしいし、一番の魅力だと思います。  
 平林有紀さん

仕事と子育ての両立はどうですか？

学校が早帰りの日や学童保育が休みの日、祝日など、子連れで出勤できるので助かります。母親同士で見守りながら、仕事をしています。  
 森本幸代さん

利用者と接する中で感じることは？

できなかったことができるようになったときなどは一緒に喜ぶことができ、うれしいです。人生の先輩から学ぶことも多いです。  
 宇田奈菜絵さん



▲上段左から加藤さん、平林さん、森本さん、宇田さんと、お子さんたち

3万円

介護福祉士資格取得支援

介護福祉士に合格した翌月から1年以内に申請することで、3万円を助成します。市内の介護施設などに正規職員として、引き続き1年以上従事する意思のある方が対象です。



▲市ウェブサイト介護福祉士資格取得支援のページ

月2万円

介護人材育成修学資金

福祉系高校や、恵那南高等学校総合学科ライフサポート系列在学の生徒を対象に、月2万円の修学資金を貸与します。一定の要件を満たせば返済の猶予や免除ができます。



▲市ウェブサイト介護人材育成修学資金のページ

市では、介護の仕事をしたい人を支援する制度を設けています。ぜひ活用ください。

市の助成制度

市内で介護の仕事をする方に、その魅力を聞きました。YouTubeで、インタビュー動画を見ることができます。



◀YouTube市公式チャンネル



国家資格

介護福祉士

身体介護の他、現場職員の指導や育成などのマネジメントも行う介護のスペシャリスト。介護サービスの計画を立てるケアマネジャーなどへのキャリアアップにもつながります。



◀市ウェブサイト恵那で介護を仕事にのページ

働き方に幅を

介護福祉士実務者研修

専門性の高い介護の知識や医療的ケアを学ぶことができます。3年以上の実務経験が必要で、働きながら取得する人も。介護福祉士になるためには必須の研修で、就職や待遇の面で有利になります。



基礎から学ぶ

介護職員初任者研修

介護職の入門。研修を終えると、訪問介護などで体に触れる介護（食事や入浴、排せつ、体位変換など）ができるようになります。研修を受けるための年齢や学歴、資格の有無、実務経験は問われません。



介護の仕事は、実は資格がなくても始められます。専門性を高めたい、キャリアアップにつなげたい方は、次の資格に挑戦してみませんか。

介護の仕事、してみませんか